

## 小売業者向けスニーク・ピーク: NetSuite 2022 リリース 1 による倉庫の効率の向上と供給計画およびキャッシュ・フロー予測の簡便化

Chris Benner, Master Industry Principal

小売業者が現在抱えている悩みで真っ先に上がるのは「労働力」という言葉です。労働統計局によると、倉庫および輸送業界の求人数は昨年夏の夏の記録である 490,000 人を記録し、10 月には 611,000 人にまで達しました。労働統計局の統計では倉庫業界の求人数は応募者数をはるかに上回っており、1 つの求人に対して 3 人から 5 人の応募者がいた 2018 年からは大きく様変わりしています。

それに加えて消費の盛り上がりもあります。全米小売業協会によると、ホリデー・シーズンの販売は 2020 年比で少なくとも 8.5% 増加し、昨年の小売輸入は前年比で 18% 近く増加しました。厳しい労働条件のため、小売業界の倉庫労働者の中にはこの業界から去っていく人もいます。

倉庫運営を伴う小売業者は、膨大な商品の流れに対応しつつ、従業員の離職につながる燃え尽きを防げるよう、チームにできるだけ効率的に働いてもらう必要があることに気付いています。一方、倉庫を持たない小売業者は、[柔軟な配送](#)による収益の確保、絶え間ない変動に対応できる[強力なサプライ・チェーン](#)の構築、キャッシュ・フローおよびビジネスの成長の確保といった他の多くの課題を痛感しています。

NetSuite 2022 リリース 1 では、小売業者がこのプレッシャーを利益に変えるのに役立つよう設計された新機能が提供されています。

### 倉庫の効率を高める

- 倉庫を運営する小売業者は、[NetSuite 倉庫管理システム\(WMS\)](#)のゾーン・ピッキングおよびマージ機能を使用してピッキング担当者を特定の倉庫ゾーンに割り当てることができるようになりました。各ゾーンに割り当てられたピッキング担当者はそのゾーンのみでのピッキング・タスクを受け取り、これはプロセス速度の向上、重複作業の回避、倉庫内の特定エリアでの混雑の最小化につながります。すべてのピッキング・タスクが完了すると、倉庫マネージャーはそれを共通のステージング・エリアに統合できます。これにより、チームは複数の注文を一度にピッキングしてすべての注文を梱包でき、各注文を個別にピッキングして梱包する必要がなくなります。

## WMS System Rules

### Enable Zone Picking for single orders

<input type="button" value="Edit"/>	<input type="button" value="Back"/>			Actions ▾
NAME Enable Zone Picking for single orders	DESCRIPTION Enables single order picking from one or more zones through a mobile device.	PROCESS TYPE		
ID 913	RULE TYPE	SCRIPT ID		
<input type="checkbox"/> INACTIVE	RULE VALUE Y	DEPLOYMENT ID		
LOCATION AutoTestWarehouse	<input checked="" type="checkbox"/> ACTIVE	PICKING TYPE Pick & Merge		

### 単一注文のゾーン・ピッキングの指示

- WMS モバイル・アプリの機能拡張によって倉庫チームはより多くの作業をこなすことができ、生産性が大きく向上します。倉庫作業者はモバイル・アプリのどの画面からでもアイテム・ラベルを検索および印刷でき、ピッキング担当者にはピッキングが必要な注文書、移動伝票およびウェーブが視覚的に表示されます。これにより、1つのタスクが完了したときに次のタスクをすぐに見つけることができるとともに、そのタスクをまだだれもやっていないことを確認できます。新しい検数スキャン機能ではスキャンされたときにアイテムがカウントされ、これが保管棚棚入、在庫移動、循環棚卸に適用されるようになりました。倉庫マネージャーは、複数のウェーブを1つずつではなく一度にリリースできるようになりました。
- [2021 リリース 1](#) で導入された [NetSuite Pack Station](#) には、梱包をより効率的に行うための機能拡張が多数追加されています。作業者は、単独で梱包する必要があるこわれやすいアイテムであることが多い「そのまま出荷」アイテムを一括で梱包および開梱できるようになりました。こわれやすい、すべてピッキングされているもののそれぞれ別の注文に属しているアイテムに対して「そのまま出荷」を選択できるようになりました。これまではそれぞれのアイテムに対して個別に「そのまま出荷」を選択する必要がありました。さらに、注文の梱包を開始する前に、アイテムの梱包手順を確認できるようになりました。さらに、パッケージの重量を測定する際に、重量単位のポンドとキログラムの切替えが可能になりました。

### いっそう強力なサプライ・チェーン

- サプライ・チェーン・プランナは、[供給計画ワークベンチ](#)に含まれるアイテムや適用されるフィルターを決定するテンプレートを作成できるようになりました。この単一ページの概要には、(ワークベンチの詳細ビューに)アイテムの説

明、(日付ベースのビューに)安全在庫、(供給詳細ビューに)仕入先情報も表示されるようになりました。

これらの追加機能により、プランナは供給と需要の状態についてのインサイトをさらに得ることができ、複数の画面を切り替えることなく自分に最も関連のある情報のみを表示できます。

- [サプライ・チェーンのスナップショット](#)では、ハイパーリンクされているポップアップにより、割当済の需要と供給についての詳細が表示されるようになりました。たとえば、在庫が不足している場合には、他の画面に移動しなくても在庫がどこに滞留しているかがポップアップで表示されます。

その結果、配送マネージャーやカスタマー・サービス担当者は需要と供給の不均衡の全体像を把握して供給を最適化でき、在庫プランナやバイヤーは供給の制約による影響の詳細を確認できます。多くの小売業者は限られた供給でやりくりしているため、このポップアップはその限られた供給を最もスマートな方法で割り当てるのに役立ちます。

- 発注書を開始するにあたり、小売業者には各仕入先の仕入先パフォーマンス・スコアが表示され、履歴パフォーマンスに基づいて注文の予測遅延日数/予測早期日数が信頼度(1-100)とともに表示されます。バイヤーは、過去の実績を調べるために仕入先レコードを個別にクリックするかわりにこの一覧表示を使用して、遅延の多い小売市場でどの仕入先から購入するかを決定できます。
- 小売業者は、スクリプトを記述しなくてもサプライ・チェーン管理(SCM)モバイル・アプリに表示される詳細情報をさらにカスタマイズできるようになりました。アプリのインタフェースの表に列を追加して、顧客、レート、確保済量、場所などのフィールドを優先順位に基づいて表示できます。

## 在庫の検査と割当がいっそう容易に

- 新しい配送時の期限順先出し法(FEFO)による割当機能により、オペレーション担当従業員はロットをいっそう簡単にロット番号付きアイテムに割り当てられるようになりました。また、FEFOを使用することにより1つのプロセスで割当と出荷の両方を行うことができるため、余分なステップを省くことができます。この機能により、小売業者は在庫の適切な使用と期限切れアイテムの廃棄の削減をさらに徹底できます。

## 資金ポジションの全体像

- 市場において多くの仕入先が価格を引き上げ、送料も引き続き上昇し続ける中、ほとんどの専門家が[予測を頻繁に行う](#)ことを薦めています。新しいキャッシュ 360 ダッシュボードは、現在の NetSuite トランザクション・データおよび予測される回収と支払を使用して、現在の資金ポジションと今後 6 か月の予測 キャッシュ・フローの完全なビューを提供します。財務アナリストは、資産購入やローン、ファクタリング売掛勘定など、キャッシュ・フロー予測に影響する単発のイベントを追加できます。その後、ダッシュボードの予測を確認し、詳細を確認するためにトランザクションをドリルダウンできます。

キャッシュ 360 ダッシュボードは、スプレッドシートやサードパーティ製アプリで短期キャッシュ・フロー予測を作成するプロセスに代わるものです。これは時間の大幅な節約につながります。1 つのシステムから別のシステムへとデータを移動しなくても、ユーザーは自動的に更新される、いっそう正確なキャッシュ・フロー予測を取得できます。

- この新機能によって会計担当者はクレジット・メモと請求書を照合でき、これは関係会社間トランザクションがいくらかあるものの、完全に自動化された関係会社間相殺ワークフローを必要とするほどではない小売業者にとって役立ちます。これにより、手作業で関係会社間トランザクションを特定してクレジットを適用するという複雑なプロセスが不要になり、時間を節約できるとともにクレジットの誤適用のリスクも低減できます。

## いっそう強力なデータ分析

- 小売業者は、開発者に依頼したり SuiteScript や API を使用することなく、データセットを単一の [SuiteAnalytics](#) ワークブックにリンクでき、これは時間の節約につながります。予算と実績、予測と実績、計画と実績、というようにデータセットをリンクできます。この機能により、複数のデータセット(カスタム・レコードを含む)を単一のワークブックに迅速に結合して 1 つのビジュアライゼーションを作成することで、[データに基づくより優れた意思決定](#)が可能になります。
- このリリースでは、[NetSuite Analytics Warehouse](#) に、従業員や銀行業務の機能領域のトランザクション・タイプを含む、さらに 18 種類の組込トランザクション・タイプが追加されています。3 つの新しい履歴スナップショット・データセットにはワーク・オーダー、在庫および経費精算書が含まれており、マネージャーはこれらの分野でポイント・イン・タイムの分析を簡単に実行できます。また、新しい 6 つのダッシュボードが追加され、アナリストが指標についてのインサイトをさらに取得できるようになりました。これらの追加によって開発コストと時間を削減できるとともに、小売業者は NetSuite データを他のデータソースを組み合わせて新たな方法で分析を実行できます。

## コマース統合のハブ

- 管理者は「コネクタ」センター・タブから [NetSuite Connector](#) にあっそう簡単にアクセスできるようになりました。ここでは NetSuite Connector のすべてのページと設定が1つの場所に表示されます。

## NetSuite 2022 リリース 1 の詳細

これは NetSuite 2022 リリース 1 のゲーム・チェンジャーとなる新機能のリストの一部にすぎません。小売組織向けの新機能の詳細は、[リリース・ノート](#)を参照してください。

また、ハンズオン・アクセスによりすべての新機能がお客様のデータ、ワークフローおよびカスタマイズでどのように役立つか試してみるために、[リリース・プレビュー・テスト・アカウント](#)へのアクセスもお申し込みいただけます。

上記の事項は、オラクルの一般的な製品の方向性の概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能を提供することのコミットメント(確約)ではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリース、時期および価格については、オラクルの単独の裁量により変更される可能性があります。